

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」桑名校		
○保護者評価実施期間	2024年11月4日		2024年12月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年11月4日		2024年12月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に合わせた療育を行っています	保護者様と日々様子を共有していく中で、お子さんの困りごとと苦手な事を見つけています。お子様との関わりも丁寧に進める中で当事業所で見られる姿を共有し、療育に取り組んでいます。	定期的に保護者様とお話をする時間を作ります。新たな課題があれば対応していきます。 お子さんの好きな事から、楽しみながら活動に参加できるようにしていきたいです。
2	個別だけではなく、小集団活動にも取り組んでいます	小集団での活動では異年齢との関わり、学校とは違う集団の中での様子や集団で感じているお子さんの困り感の様子を把握することができます。異年齢での交流ができます。	小集団を行う機会を増やし一人一人の集団での様子を把握していきます。集団での困り感を個別で対応していきたいです。
3	お子さんに合った個室での対応ができます	療育時には一人一部屋となるよう、その子に合った部屋で療育が可能です。扉のある部屋、パーテーションで区切られた部屋があり落ち着いて活動に取り組むことができます。	年齢に合った机椅子の充実を図り自分の背丈に合ったものの使用ができるようにしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会など保護者同士の交流の場が少ない	保護者送迎の待ち時間に話すことはできるが、その時だけになってしまい継続した関係や相談のできる関係性の構築はできていません。	父母の会など改めて話をする時間がとれるような場を設けたいです。
2	地域の方との交流が少ない	外部に出ることが少なく、同建物の企業の方との関りも年に数回と少ないです。	周辺の事業所や、同建物の企業の方、地域の方との関りが持てるよう外部へ出かけたり、事業所内でもイベント等を通して関わる機会を作っていきたいです。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		子どもサポート教室「きらり」桑名校						公表日		2025年 2月 15日	
		利用児童数				25		回収数		23	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2				事業所内だけではなく戸外へも行き、体を動かす機会を作っていきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2			マンツーマンでありがたいです。	小集団も取り入れつつ個別も大切にしていきます。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2			階段なので、バリアフリーとは言い難いと思います。子どもたちは過ごしやすい空間になっています。	事業所が3階にあるが、事業所内には段差は少なく階段には手すりが付いています。車いすやけが等で階段を使うことが難しい場合、エレベーターを使用することもできます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23								
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23								
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				1		具体的な支援内容についてお話をしていきます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2					利用者様に必要な療育を考え、変化、発展させ成長につながる活動プログラムを考えています。		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	16	1	5	1			感染症などの安全が確保できる方法で、今後開催を検討したいです。		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1					契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に書類を掲示しています。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	4	2		保護者会があればいいなと思います。	感染症などの安全が確保できる方法で、今後開催を検討したいです。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1			1		日々のフィードバックにて、今の様子や今後の課題についてお話をしています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2					保護者様、利用者様の言葉に耳を傾け		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	6				感染症などの安全が確保できる方法で、今後開催を検討したいです。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2		2		いつでも時間がとれる体制を作り、保護者の方にも周知していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1		1		引き続き情報伝達を大切にしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			2		教室内に避難訓練の様子を中心に写真を掲示しています。FBやLINEを利用して情報を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	1	1		マニュアルは作成済みです。研修の様子をLINEやブログ、教室掲示ボードなどで紹介していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		3		実施しています。ブログや教室掲示ボードにわかりやすく紹介していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1		2		事業所で行っていることを周知していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		2		このような事がないため、あった際は速やかな対応をいたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1				安心して楽しく通うことのできる事業所を目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1				安心して楽しく通うことのできる事業所を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」桑名校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		広いスペースで活動できています。部屋の隙間を改善したいと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上（常勤換算による算定）配置しています。	配置数は足りています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			視覚支援はもっと改善できます。支援に使う部屋やトイレが利用者に見てわかるようにしていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃を行い、椅子机も利用者に合わせて配置しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		なっています。扉の無い部屋もパーティションを使用し個別の部屋になるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		担当者と児発管のみ参画。	会議を開いて職員に周知徹底していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		当社HPにて公開、教室内に掲示しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		時間を確保し意見交換をしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	そのような評価は行っていません。	第三者による外部評価については現在実施予定はありませんが、今後必要に応じて社内で実施を検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎月複数回の研修を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			作成中。作成出来次第掲載します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		計画期間ごとにモニタリングをし、個別支援計画を作成しています。また、会社全体で統一したアセスメントシートを使用しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援を担当する職員、児発管が、計画書に基づいた支援計画を作成、実施しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画を立てた際には内容の確認、共有をしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		毎年アセスメントをとり、統一したアセスメントシートを使用しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		アセスメントを行い、本人の状況や家族の状況を確認して、計画を立案しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		日々の療育の内容や共通の利用者様への対応など、一つ一つ確認して進めています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個に応じた支援内容を考え、効果的に楽しく学べるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		アセスメントをもとに目標を設定して、個別支援計画を策定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々お子さんの情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		利用者の情報共有をしています。	引き続き話をする機会を増やしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用時には記録として残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画期間ごとにモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者と児発管が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		他の事業所、市役所や発達センターなどと情報を共有しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行時期には、今までの支援の経緯を含め、現在の状況を情報共有しています。	併用児童についての情報共有も行います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行時期には、今までの支援の経緯を含め、現在の状況を情報共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		対応で困った場合、困難事例の助言を受けています。	併用児童についての情報共有も行います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		感染症等の影響もあり、交流は全て中止しています。	今後検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、支援終了後、保護者との話合いの機会を設けています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家庭で実施していただける内容の情報提供をしています。職員が情報提供できるように研修を行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に書類を掲示しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に保護者の意見を聞き、そこで話し合いする時間を確保したり、別日に時間を確保し話しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリングで話を聞き計画作成後も支援内容を説明したうえで同意をもらっています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後や日時を設定して随時、相談にのっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いつでも相談や申し入れを受け入れる体制を整えており、迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		教室内に避難訓練の様子を中心に写真を掲示しています。FBやLINEを利用して情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫へ保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末にはパスワードを設定して適切な対応を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者やご家族様の状態に応じて、適切に意思疎通、情報伝達を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	感染症等の影響もあり、交流は全て中止しています。	今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成して研修を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者の方に記載していただき基本情報（フェイスシート）にて確認しています。また、アセスメントの際にも再確認をしています。	担当のお子さんだけでなく、全員が周知できるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつや食事の提供はありませんが、イベントでおやつを取り扱う際には保護者の方に確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画を立て毎月確認をしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			計画は立てていますが、周知が難しいため、今後対応していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった時は、報告書を作成して、保管し職員間で共有します。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを作成して、研修を行っています。県主催の研修には必ず参加しています。	全員情報を共有していきたいです。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者に十分説明をして個別支援計画へ記載します。契約時にも重要事項説明書を使って説明しています。		